

日本鉄鋼協会記事

企画委員会

第8回委員会 開催日：1月22日。出席者：俵委員長ほか11名。

1. 来年度予算素案作成の件
来年度予算素案が原案どおり承認された。
2. 湯川記念資金事業の件
湯川記念資金事業規程案ならびに予算案が承認された。
3. 浅田記念資金事業（仮称）の件
標記資金による事業について話し合いがなされた。
4. スカンジナビヤ4国に対し鉄鋼使節団派遣の件
20名ほどのミッションを本年9月頃派遣したい旨報告がなされ、企画委員会として承認された。
5. 春秋講演大会における懇親会への招待者を制限することが承認された。
6. 第4回真空冶金国際会議の件
標記会議の準備を準備委員会で進めてきたが、今後委員会を設置し、予算、サーキュラー作成について具体的に検討することになった旨報告がなされ承認された。

編集委員会

第11回和文会誌分科会 開催日：1月12日。出席者：松下主査ほか11名。

1. 論文審査報告
掲載可7件、修正依頼3件。
2. 鉄と鋼第57年第7号掲載論文選定
論文9件、技術報告1件、技術資料1件、展望1件、特別講演1件を選定。
3. クリープデータ集掲載依頼の件
金材技研より、長時間クリープ破断データを鉄と鋼に掲載してほしいとの申し出があり、掲載する方向でまとめ方などにつき小委員会を設けて検討することになった。

第12回和文会誌分科会 開催日：2月2日。出席者：松下主査、ほか12名。

1. 論文審査報告
掲載可7件、修正依頼3件。
2. 鉄と鋼第57年第8号掲載論文選定
論文4件、技術資料1件、解説1件、展望1件、講義1件を選定。
3. クリープデータ集掲載の件
田中良平委員より、小委員会検討の結果が報告され、「資料」として掲載することになった。
4. 依頼原稿について
技術資料類7件を依頼することになった。

第11回欧文会誌分科会 開催日：1月27日。出席者：橋口主査、ほか10名。

1. 6件の論文につき査読報告がなされた。その結果

4件が掲載可、2件が修正依頼となった。

2. 第80回講演大会より7件の論文、また委員より1件の論文につき投稿を勧誘することが決められた。

3. Trans. ISIJ に掲載された論文を複写により他誌に掲載するときは、鉄鋼協会の許可を得ていることを書き添えればよいとする。

研究委員会

第6回委員会 開催日：12月22日。出席者：今井委員長、ほか20名。

1. 報告事項
金属関係学協会連絡会および学術会議との懇談会の報告がなされた。
2. 基共研の新規テーマについて
学振19委、54委にテーマの検討を依頼したところ、学振19委は凝固を取り上げることは賛成で専門家を集めて検討することにした。また学振54委では次回委員会(1/24)で検討したい旨の回答を得た。
3. 46年度研究委員会事業計画について
 - (1) 公害問題について
新たに公害問題の委員会を設けず、現在ある部会分科会で積極的に公害問題をテーマとして取り上げることにした。
 - (2) 基礎研究体制について
新たに委員会を作らずに基共研の運用の仕方、その都度問題を解決していくことにした。

共同研究会

製鋼部会

第47回部会（於 住金・本社）開催日：12月2, 3, 4日。出席者：石原部会長、ほか106名。

1. 研究発表
 - (1) 製鋼設備に関する研究……………3件
 - (2) 製鋼に関する計測技術の研究……………1件
 - (3) 製鋼原料と操業に関する研究……………8件
 - (4) 造塊に関する研究……………3件
 - (5) 脱ガスに関する研究……………2件
 - (6) 連続鑄造に関する研究……………4件
 - (7) 炉前（含混鉄炉）の省力化……………4件
2. 特別講演
「リムド鋼の大型非金属介在物について」と題して、住金中研荒木泰治氏の講演があった。

3. 工場見学

新日鉄 堺製鉄所

住金 和歌山製鉄所を見学した。

第22回鑄型分科会（於 水島製鉄所）開催日：11月12, 13日。出席者：岡部主査、ほか82名。

1. 研究発表

直注鋳型; 大型鋳型; DCI; 鋳型の改善修理, 強制冷却, 使用管理; 鋳型定盤の改善等について 18 件の研究発表があった。

2. 工場見学

川鉄・水島製鉄所・直鋳工場他を見学した。

鋼板部会

第13回ホットストリップ分科会 (於 鋼管京浜) 開催日: 11月13, 14日. 出席者: 高畑主査, ほか 69名.

1. 操業成績調査
 2. 能率向上対策
 3. コイラーおよびコイル捲き形状に関する研究
- 上記 1, 2 について各製鉄所より報告があり, 3 につき 6 件の研究発表があった。

原子力部会

第1回委員長会議 開催日: 1月19日. 出席者: 部会長, ほか 20名.

昭和 46 年度通産省重要技術開発研究費補助金申請による共同研究「原子力製鉄用高温熱交換器および還元用ガス製造の研究」に関して下記の事項について討議された。

- (1) 研究内容の検討
- (2) 研究実施形態について
- (3) 実施条件について
- (4) 研究実施委員会の設置について
- (5) 研究費分担方式について

第11回第4小委員会 開催日: 12月21日. 出席者: 森小委員長, ほか 22名.

1. システム小委員会検討経過報告
2. 蓄熱型熱交換方式の検討
間接熱交換で, 還元ガス加熱温度を高くする一方法として蓄熱型熱交換方式が紹介された。
3. 昭和 46 年度共同研究について
昭和 46 年度に計画されている実験ループによる共同研究について実験内容等の検討を行なった。
4. 熱交換器開発のスケジュール
原子力製鉄用高温熱交換器開発のための長期スケジュールについて討議した。

標準化委員会

ISO 鉄鋼部会

第16回 SC 4 分科会 開催日: 1月13日. 出席者: 鈴木主査, ほか 11名.

昨年 10 月 26 日～ 29 日開催された東京国際会議の討議内容の最終とりまとめを行ない, 報告書の原案を作成した。

第38回普通鋼分科会 開催日: 1月19日. 出席者: 青木主査, ほか 17名.

日本海事協会の賀来氏より, 「船体用高張力鋼統一規格について」説明があった。この案は, ほぼ最終案であつて, 来年より実施される見込みである。つぎに造船用

規格鋼材の統一記号の改正について, 前回は引きつづいて審議がなされ, (1) A33DN は, 特別部材に用いるノルマ (このノルマをコントロール・ローリングにかえることができるか確認する。) 指定のもののみ, (2) A33D は, 注文書でノルマ指定のない全板厚, (3) A36D についても同様, という結論を得た。つぎにエリクセン試験方法の改正にともなう「冷間圧延鋼板および鋼帯 JISG314I の見直し, について, 前回の決定事項に基づき各社で検討した結果につき討議された。その結果, 旧 JIS と新 A 法の差は 0.3mm アップとし, 新法は時期尚早で今回はとり上げないことになった。これに基づいて工口院と接渉することにした。

第32回機械試験方法分科会第9回 ISO 鉄鋼部会分科会 開催日: 11月5日. 出席者: 吉沢主査, ほか 19名.

1. ISO/TC 17/SC 6 の Meeting (1971.1) について
2. シャルピー衝撃試験機の総合精度検定に関するデータの検討
1 については 1971 の Meeting には参加しないが, メンバー資格を将来的に “O” から “P” にしたい意向を確認した。
2 については今後の追加検討項目を決めた。

排煙脱硫試験委員会

第1回委員会 開催日: 12月24日. 出席者: 豊田委員長, ほか 23名.

1. 鉄鋼業界にて焼結炉の排煙脱硫に関する共同研究を実施することになったいきさつ, またその技術的検討を当委員会にて行なうことになったいきさつの説明があった。
2. 今後の大略タイムスケジュールを決定し, 詳細な検討は下部機構である幹事にゆだねることとした。

鉄鋼基礎共同研究会

溶鋼溶滓部会

第3, 4, 5 合同分科会 開催日: 1月18, 19日.

1. 第3分科会 1月18日 9:30～12:00 座長: 川合委員, 井上主査 (名大工教授) の挨拶ののち, 溶鉄中への窒素の拡散と酸素の拡散について 2 件の研究論文発表があり測定方法やその解析について, 活発な討論がなされた。

2. 第4分科会 1月18日 13:00～17:00 座長: 加藤委員, 横川主査代理 (北大理助教授) の挨拶ののち, 委託研究の質量分析計による蒸気圧測定に関する論文発表のほか, Cu-Ni 合金の測定, 硫化カドミウムの酸化揮発, 溶融 Fe-P 系の蒸気分子種, 溶融 PbO-SiO₂ 系の PbO の活量測定について論文発表がなされた。

3. 第5分科会 1月19日 9:30～15:00 座長: 足立委員, 川合主査 (九大工教授) の挨拶ののち, 委託研究の溶融 Fe-C_{sat}-X 3 元系合金の表面張力および密度, 溶融 Fe-C および Fe-C-Si 合金の表面張力, 溶融 FeO-CaO-SiO₂ 系スラグの表面張力に関する論文発表とそのほか表面張力測定に関する 5 件の論文発表がなされた。

強度と靱性部会

新日鉄 谷口氏, 水井氏

第14回部会 開催日: 1月20日. 出席者: 荒木部会長, ほか10名.

1. 研究発表

(1) 構造用鋼材の延性について

日本鋼管 小指委員

(2) 米国における超高張力鋼の脆性および疲労破壊の評価法とその考え方

2. シンポジウムについて

本年5月に「鉄鋼の強化組織と靱性」というテーマでシンポジウムを開催することとし講師候補の選定等を行なった.

3. 各委員の研究テーマについて

部会の各委員が行なっている研究テーマを提出し今後の部会の研究の参考とすることにした.

昭和 46 年度科学技術週間のお知らせ

科学技術週間は、科学技術に関しひろく一般国民のこれに対する関心と理解を深め、もつてわが国の科学技術の振興を図ることを目的として、関係機関の協力を得てできるかぎり、この週間中に各種の科学技術に関する行事を集中的に実施し、この目的を達成しようとする趣旨のもとに、昭和35年の閣議了解に基づいて設定された週間です。行事は下表のとおりとなっています。

研究 所 名	公開日時	内 容	所 在 地	最寄駅
科学技術庁 金属材料技術研究所	4月15日(木) 13:00~17:00	所内全般	目黒区中目黒	東横線中目黒下車
通商産業省 四国工業技術試験所	4月13日(火) ~15日(木) 10:00~16:00	〃	高松市花の宮町 2-3-	国鉄高松下車
〃 公害資源研究所	4月14日(水) 10:00~16:00	所内全般・映画		国鉄川口下車
〃 〃 浮間分室	4月14日(水) 10:00~16:00	〃		国電赤羽下車
〃 九州工業技術試験所	4月16日(金) 10:00~16:00	〃	鳥栖市宿町	国鉄鳥栖下車
国 鉄 鉄道技術研究所	4月16日(金) 9:30~16:00	〃	国分寺市光町	国電国立(北口)下車
防 衛 庁 技術研究本部第1研究所	4月16日(金) 10:00~15:00	研究室施設の一部公開	目黒区中目黒 2-2-1	国電・地下鉄日比谷線 恵比寿下車
運 輸 省 交通安全公害研究所	4月16日(金) 10:00~15:30	所内全般	三鷹市新川 6-38	国電三鷹・吉祥寺下車

Frank 教授講演会取止めのお知らせ

Frank 教授の特別講演会(3月25日)開催案内を本誌2号にていたしました。Frank 教授急病のため来日が不可能となり、講演会を取止めますのでお知らせいたします。